

# 過去から 未来へ

ふる～ぶが100号を迎えた記念の年として、  
取材した方々に再登場していただき、お話を伺っていきます。



## 美郷の宝を探し 守り続ける

美郷ほたる館 館長 佐藤 正勝さん(左)  
美郷宝さがし探検隊 隊長 棟本 誠二さん(右)

「美郷」その名のごとく、美しい山々に囲まれ、清流の流れる四季を通じて美しき郷、それが吉野川市美郷です。町の中心を流れる吉野川の支流川田川には、ゲンジボタルやヘイケボタルが生息し、昭和45年には、全村(旧美郷村)が「美郷のホタルおよびその発生地」として、国の天然記念物に指定されました。「美郷ほたる館の館長」佐藤正勝さんに登場いただいたのは、平成17年のこと。久しぶりにお話を伺おうと車を走らせていたところ、なにやら川田川を道からのぞきこんでいる元少年二人。それが「美郷ほたる館の館長」佐藤正勝さんと「美郷宝さがし探検隊の隊長」棟本誠二さんでした。鮎がいるのを見ていたとのことですが、ほたる館で一緒にお話を伺う

ている日本有数の発生地で、約一ヶ月の間、これだけの範囲でホタルが見られるところは、他にはないそうです。

このツアーでは、ホタルの生態のほか、幼虫から成虫になるまでの成長の過程や、昔は、川に黄色い光の帯ができるほどホタルがたくさんいて、川の水面が見えなかったことなどを、ホタルを見ながら説明することにより、参加者の方にも大変興味深く聞いていただいたそうです。

このツアーの案内人を務めているのが、佐藤さん、棟本さんを中心とする美郷宝さがし探検隊のみなさんです。美郷宝さがし探検隊は、平成12年の美郷ほたる館の完成を前に、平成10年、美郷の美しい自然を残し、大切にしていきたいという思いから美郷の住民55名で結成されました。過疎化や、住民高齢化により、失われつつある歴史や文化を掘り出して、保存しようという活動をしています。このホタルエコツアーもその一環。その他、川田川の清掃や、川遊び。高開石積みライトアップ(高開地区にあるだんだ



川田川沿いの清掃の様子



川田川で遊ぶ

ルを通じて、環境の大切さも訴えていきたい」これからも、おふたりの思いは変わりません。

ホタルだけでなく、美郷はこれからの季節も楽しみがいっぱいです。山にはエノミ、ムク、シイ、アケビ、山ナスビなどの木の実がいっぱいだし、母衣露の滝や、重楽寺の紅葉も見事だと教えてくださいました。

魅力あふれる美しき郷で、これからもおふたりの探検と宝探しは続いていきます。もしかしたら、おふたりは気づいていないかもしれないけれど、おふたりも美郷の宝。秋から冬も楽しさいっぱいの美郷へいらっしゃいませんか？少年のような探検隊のみなさんが迎えてくれますよ。



今年のホタルの乱舞の様子

ことにしました。

「今年は、台風で幼虫が流されなかったけん、ホタルが多かったよ～」と、佐藤さん。取材時から変わらず続いているホタルの季節に行われるホタルエコツアーにも、県内外から多くの方が訪れました。美郷のホタルは、自然に恵まれた美しい環境のあるこの地ならではの宝物。川田川や東山谷川の支流の4～5キロにわたって発生し

ん畑の石積み)や石積み体験、蕎麦打ち体験、梅の花まつりなど、さまざまなイベントを開催しています。

「これらのイベントを通じて、美郷の美しい自然や、いいところをたくさん伝えていきたい、ただ伝えるだけでなく美郷のホタ



母衣露の滝ツアー

【ホタルと活動写真  
提供:美郷ほたる館】